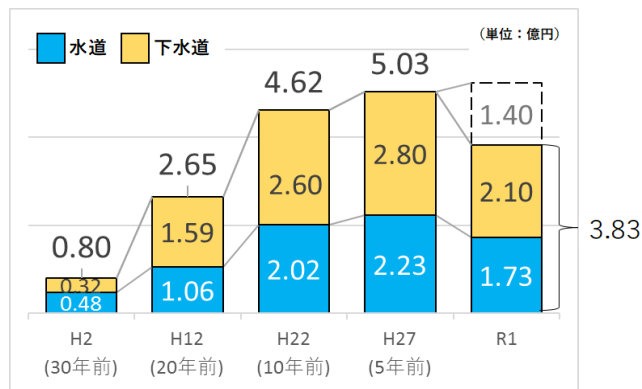


# 水道料金・下水道使用料の減免制度見直しの考え方（案） 概要版

## 減免制度

- 水道及び下水道の普及時期における大幅な料金値上げに対する緩和措置のため福祉施策として開始
- 一般会計からの繰入（税金など）によって減額分を補てん

## 繰入金 の推移



※平成28年度から繰入金の算出方法が変更になり、減額額と繰入金に差が生じています。

## 見直しの背景

平成27年度 行政評価  
(上下水道料金の減免の見直し)

- 基本水量や区分等について多様なライフスタイルに対応するため、料金体系の見直しを行い、その整理の中で減免制度が真に必要なかどうかを検討するとともに、一般会計からの繰入金によらない制度運用が可能かどうかについても合わせて検討すること。
- なお、減免制度の見直しをすることとなった場合には、その見直しによる代替施策案について関係部局と十分な協議・調整をすること。

旭川市行財政  
改革推進プログラム2020  
(令和2年度～令和5年度)

計画期間内の収支不足額  
**56.6億円**

特別会計繰出金の抑制

**3.72億円**

一般会計の  
厳しい財政状況

## 減免制度見直しの考え方

※令和4年度料金改定時

## 減免制度見直しの目的

独立採算による  
事業運営

使用者負担  
の公平性

現行制度の在り方を検討する必要があります

減免対象	減免制度の在り方（案）	備考
社会福祉施設	減免制度の維持	関係団体と協議を重ね、平成20年度に負担増となる見直しをしており、今回の料金見直し時には、現行制度を維持することを基本的に、制度内容について検証
公衆浴場		公衆浴場は、住民の利用機会確保のため、入浴料金の上限額が定められており、経営が不安定であることから、減免を継続
生活保護世帯	減免制度の廃止 ※令和4年度から	生活保護費の算定に光熱水費が含まれており、制度との重複を解消するため廃止
独居高齢者世帯		基本水量の見直しにより、減免制度の導入理由が解消されるため廃止
児童扶養手当 受給世帯 特別児童扶養 手当受給世帯 障害者のみの世帯	検討 継続	福祉施策の在り方として、実施手法や支援規模等について、令和5年度からの適用に向けて検討を継続